

2017年3月17日（金曜）

全労金2017春季生活闘争ニュース・第13号

全労金は、第4回全国書記長会議を開催し、
回答期限日に向けた闘いの進め方を確認しました！

◎ 3月16日、第4回全国書記長会議を開催しました。

3月16日（木）、全労金は、前日の中央闘争委員会に続いて、全単組の書記長参加の下、第4回全国書記長会議を開催し、連合の情勢、協会・全国労金の動向等を報告することとあわせて、各単組の要求内容とこれまでの交渉状況を共有し、今後の交渉に向けて、金庫の主張等に対する労働組合の考え等について意見交換しました。



各単組の特徴的な交渉状況としては、金庫を取り巻く環境は厳しいものの、単組の要求内容と真摯に受け止め交渉に臨んでいる金庫がある一方で、労働組合が全組合員の総意で確立した要求であるにも関わらず、労働組合の要求に向き合おうとせず、経営環境の厳しさのみを主張する金庫もあります。

私たちが掲げた方針・要求は、日銀の金融政策や他金融機関とのさらなる競争激化を背景に、労金事業発展に向け、まさに踏ん張りどころであることを理解したうえで、役員が一体となって厳しい環境を乗り越えるために掲げた要求です。さらに、私たちの運動が組織内だけでなく広く社会に波及することによって、日本社会全体が活性化することをめざし、「将来への責任」を果たすために掲げた最低限の要求です。労働組合の要求に対して、真摯な姿勢で向き合おうとしない金庫には、会員や地域といったコミュニティの「助け合い・支え合い」によって成り立っている協同組合の労働金庫経営者としての資質を疑わざるを得ません。組合員のみなさんは、単組が発行する春闘速報等を注視し、金庫・経営陣がどのような姿勢で交渉に臨んでいるのかを共有して下さい。

私たちは、14単組が掲げた要求に自信と確信と誇りを持つとともに、連合に結集する仲間との「共闘」を意識し、引き続き、全労金に結集する全ての組合員が一丸となって最後まで粘り強く闘いを進めましょう！

※ 全労金ホームページは随時、更新中！ 全労金で検索を！

※ 次号は3月17日（金）に配信予定です。

以 上